

最上総合支庁ニュース

2025年 6月号

最上総合支庁キャラクター
モガミル

最上地域のイニシャル「M」に
アンテナを付けた形に見立て、
地域の情報を広く発信する姿を
表現しています。



発行元 最上総合支庁総務企画部総務課

総務課 総合案内窓口

電話：0233-29-1360

FAX：0233-23-2605



クリタ園芸さんからいた
いた見事なサンパチェンス
が、支庁の玄関にいろど
りを与えています。

「身近な木 もっと広がる 未来まで」をテーマに やまがた森の感謝祭2025開催

6月7日（土）、新庄市民スキー場で「やまがた森の感謝祭2025」が開催され、来賓、
県内各地の緑の少年団員、新庄市内の児童、森林・林業関係者など410人が参加されました。

式典では、高橋徹副知事のあいさつ、山科朝則新庄市長による歓迎の言葉がありました。
その後、長年にわたり最上地域の森林・林業に貢献された新庄市の林業家・小関一也様、
新庄市のマルカ林業株式会社様、およびもがみバイオマス発電株式会社様が、最上地域森林・林業功労者として
最上地域林業振興協議会会長である齋藤千賀子最上総合支庁長より表彰されました。また、やまがた絆の森づく
りに参画し、会場北側の「しんきん結の森」で活動している新庄信用金庫様に、高橋副知事より山形県CO²森林
吸収量認証書が授与されました。

式典の最後には、新庄市内の児童6名と副知事による「森づくり宣言」が行われ、「植樹するコナラの苗を大
切に育て、新庄市の里山として役立てていきます」と宣言されました。

植樹活動では、山形トヨペット株
式会社様から寄贈されたコナラの苗
木150本を参加者全員で植えました。

午後は緑の少年団員と新庄市内の
児童が班ごとに分かれ、「しんきん
結の森」で森林散策やネイチャーゲ
ームを楽しみ、森の中で自然に触れ
合う体験を満喫していました。



やまがた緑環境税
活用事業

[森林整備課森づくり推室 29-1348]

最上地域森林・林業功労者の表彰

齋藤支庁長とコナラの苗木を植樹

～地域へ広がるジモト大学～

新庄・最上ジモト大学コンソーシアム総会開催

最上地域では、“高校生が旅立つ前に学ぶコト”をキャッチフレーズに、学校では学べない、地域のヒト・
モノ・コトを地域の大人と一緒に学ぶ「新庄・最上ジモト大学」を開校しています。

4月14日、新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム総会を開催し、令和6年度
の事業報告や令和7年度の運営方針等について協議しました。昨年度に引き続き、
市町村や企業・団体等が提供するプログラムのほか、高校生自らが企画するプログラムも
実施予定です。また、今年度は新たに東北農
林専門職大学によるプログラムも用意するな
ど、高校生に多様な学びの場を提供しており
ます。

より地域に根ざしたジモト大学となるよう、
地域一丸となって取り組んでまいります。

[連携支援室 29-1236]



東北農林専門職大学新入生 最上地域の魅力を体感！

4月19日と5月17日の2日間、「東北農林専門職大学新入生バスツアー2025 見て！食べて！体験して！『最上の魅力を発見・体感しよう！！』」を開催しました。このツアーは、東北農林専門職大学の新生が今後4年間、学びや生活のフィールドとなる最上地域の魅力を知り、体感することで、最上地域への愛着や地域住民との交流、地域活動への参画につなげたいとの趣旨で開催したもので、昨年度から実施しています。

延べ20名が参加し、最上川舟下りの体験や四ヶ村の棚田見学など、管内8市町村の名所を巡りました。参加した学生は、最上地域の魅力を満喫した様子でしたが、農業生産法人を訪問した際は、真剣な面持ちで代表の話に耳を傾けており、将来の自分の姿に重ね合わせていたようでした。

参加者からは

「今後生活していく地域にどんな農業があるのか、どんな文化や歴史があるのか知れて良かった」

「どこも自分の地域を大事にして、特色を活かしながら持続可能性を目標に取り組んでいる姿に感動した」

「積極的にボランティア活動に参加し、この地域に貢献していきたい」などの感想が寄せられました。

今後も引き続き、大学と地域との交流促進を図り、最上地域の活性化に取り組んでまいります。
[連携支援室 29-1235]



最上産米の高品質安定化を目指して

～「ペースト二段施肥田植機実演会」開催～

5月19日、大蔵村赤松の水田圃場において、苗の移植と同時にペースト肥料を苗近くの土中に2段に分けて施肥する「ペースト二段施肥田植機」の実演会を開催しました。この実演会は、近年課題となっている水稻の初期生育不足を改善し、高品質・良食味米の安定生産を達成するために、全国農業システム化研究会（一般社団法人全国農業改良普及支援協会）の実証事業として実施しているもので、生産者、JA、メーカー等関係機関約50名の参加となりました。

当日の作業はスムーズに進み、1ha圃場の田植えは約2時間で終了しました。

今後、水稻の生育、収量、品質の調査や労働時間、機械の減価償却費を含めた経営評価を実施し、その収益性改善効果を生産者や関係機関の方々にお知らせしながら、技術の普及拡大を図ってまいります。[農業技術普及課 29-1332]



空き家活用に向けた取組みを協議

～令和7年度はポータルサイトの内容拡充、フォーラムの開催等を予定～

5月26日、空き家活用の取組みを協議する「最上地域空き家活用促進協議会総会」を開催しました。

今年度の主な取組みは、最上地域の空き家バンクをまとめたポータルサイト「もがみ空き家の杜」の内容の拡充・情報発信の強化、空き家の活用方法について様々な取組みをされている方から講演いただくフォーラムの開催などです。

特に、今年2月に開設した「もがみ空き家の杜」は、360度カメラによるバーチャル内覧、新たな暮らしを始めた方の声の紹介、コラム形式による物件紹介、物件ごとの居住者向け支援メニューなどをご覧いただくことができます。

多くの方に活用していただけるよう更に内容を充実させてまいります。

[建築課 29-1418]



「もがみ野菜新規就農ツアー」

参加者募集！

最上地域で新たに就農を検討、希望する社会人、学生、高校生の方々等を対象に、野菜経営の魅力をPRするバスツアーを開催します。

トマトやきゅうり、ねぎ、にらの園地をまわり、生産者の方々のお話を聞くとともに、新規就農者に対する県や市町村の支援策等を紹介します。

参加費は無料。午前のみ、午後のみ参加も可能ですので、皆さん、ぜひ御参加ください。

- ◆日 時：令和7年8月2日（土）9時から16時30分まで
- ◆場 所：午前：トマト園地（大蔵村）、きゅうり園地（舟形町）
午後：ねぎ園地（新庄市）、にら園地（金山町）
- ◆申込締切：7月24日（木）

参加の申込みや詳細はホームページ

(<https://agrin.jp/area/mogami/yasai/basutua2.html>)

をご覧ください。



【～最上地域みんなで子育て応援団～ mocoマルシェ】

みんなあつまれ！最上のこどもたち



最上地域みんなで子育て応援団は、7月5日（土）に「moco マルシェ」を開催します。

第1部のステージイベントでは、ラーメン体操が全国で大人気の「あきらちゃん&ジャンプくん」が登場！ 家族やみんなで楽しめる遊び歌などのステージショーは必見です。第2部では、工作やゲームなど、親子で楽しめる体験ブースをたくさん準備しています。ぜひご家族みなでご来場ください。

- 日時 7月5日（土） 10:00～12:00
- 場所 ゆめりあ 花と緑の交流ひろば（新庄市）
- 対象 0歳～小学生までのお子さまとご家族
- 入場 無料（事前申込み不要）
- 内容 1部：ステージイベント（「あきらちゃん&ジャンプくん」）
2部：体験ブース（工作、ゲーム等）



※詳しくはこちら（最上地域みんなで子育て応援団サイト「moconet」）



[こども家庭支援課 29-1245]

【「おいしい適塩ランチ」をお試ください】

減塩でもおいしく食べる工夫をお知らせし、健康な食生活を実践するきっかけとしていただくため、今年度も最上総合支庁の食堂で年4回、「おいしい適塩ランチ」を提供してまいります。



■第1弾メニュー■（6/19 実施）

- * 鶏肉のレモン風味焼き
- * アスパラのポタージュ
- * 海と大地の玉手箱（「山形県栄養教諭・学校給食栄養士会」で作成した給食の人気レシピ）
- * ごはん
- * フルーツ

●適塩のポイント●

鶏肉のレモン風味焼きの調味料はシンプルですが、にんにくと生姜で味に深みを出し、レモン汁でさっぱりと仕上げました。レモン汁を使用することで塩分を抑えることができます。



つくりかた



第2弾以降は、8/19(火)、11/19(水)、3/19(木)を予定しております。
食塩控えめでもおいしいランチをご家庭でもぜひお試しください！

[地域健康福祉課 29-1267]

令和6年7月の大雨災害による被害の復旧状況お知らせします

最上地域では、県管理の公共土木施設である河川や道路などで394か所の施設被害が災害査定により採択され、復旧工事における国庫負担対象額は約179億円となっています。また、農地・農業用施設の被害は3,804箇所、約91億円、森林関係は166箇所、約30億円にのぼり、これまでの災害で過去最大の被害となりました。

公共土木施設では、河川や道路など140箇所がすでに契約済み、治山事業では5箇所が契約済みで、残る箇所についても現在発注準備を進めており、速やかな復旧を目指してまいります。

【各被災施設等の査定結果及び災害復旧工事の発注状況（県施工分：令和7年5月末）】

	査定決定		契約状況		執行率(%)	
	箇所数 (a)	国庫補助 対象額(億円) (b)	箇所数 (c)	国庫補助 対象額(億円) (d)	箇所 (c/a)	額 (d/b)
公共土木施設	394	179.3	140	51.3	35.5	28.6
県管理道路	93	31.2	68	17.8	73.1	57.4
県管理河川・砂防	301	148.1	72	33.5	23.9	22.5
治山事業	8	21.6	5	10.2	62.5	47.2

また、最上地域で被災した河川や道路などの公共土木施設について復旧・復興を進めるため、東京都や宮城県から支援職員を派遣いただいています。

このたび、6月11日に、東京都の復旧支援対策部長、被災地支援担当課長らが最上総合支庁に来訪され、最上地域の復旧状況の視察や支援職員への激励をいただきました。

引き続き、災害復旧工事を計画的かつ効率的に進め、一日も早い復旧・復興を目指してまいります。



東京都職員の新田川の視察（新庄市）

[地域産業経済課 29-1303、道路計画課 29-1399、最上地域豪雨災害復旧対策室 29-1443]

土砂災害警戒区域の前倒し点検を実施

4月22日、23日の2日間、土砂災害の未然防止および住民の防災意識の向上を目的に、土砂災害警戒区域の前倒し点検を実施しました。

昨年7月の大雨で土砂災害が発生した箇所などから10箇所を抽出し、関係機関と共同で点検した結果、直ちに崩壊するおそれがあるなど、緊急を要する箇所はありませんでした。



今後も点検などにより、土砂災害の防止に努めてまいります。また、斜面などに異常が発見されましたら、各市町村や総合支庁までご連絡下さい。

[河川砂防課 29-1408]

盛土規制法による規制が4/30からスタート

山形県では、令和7年4月30日に危険な盛土等を原因とする災害から生命や財産を守るための法律「宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）」に関連する区域を定め、危険な盛土等の規制を始めました。

詳しくは、山形県ホームページ内の「盛土規制ポータルサイト」をご覧ください。



[建設総務課 29-1391]



最上小国川清流未来振興機構の取組み



ホームページ



Instagram

機構代表者会議開催 ～今年度事業計画・予算承認～

4月22日、最上小国川清流未来振興機構（本部長：悪七幸喜氏）の代表者会議が、最上町中央公民館大ホールで開催されました。この組織は最上小国川流域の振興を目的として、最上町、舟形町、小国川漁業協同組合、山形県及び流域振興に取り組む団体で構成されています。

会議では、流域の将来像を実現するため策定している「最上小国川清流未来振興計画」に基づく昨年度の事業実績・決算、そして今年度の事業計画・予算について承認を得ました。

また、次期振興計画について、中長期的な計画として今年度中に策定を進めることについても承認いただきました。

今年度も、高校生に地域の清流文化を体験してもらう「鮎釣り甲子園大会」をはじめ、最上小国川の流域振興に繋がる様々な事業を実施する予定です。

事業を通じて、幅広い世代に最上小国川の魅力や価値を広く発信できるよう取り組んでまいります。



「最上小国川集中クリーンアップ大作戦」 大雨を乗り越え、きれいな最上小国川に！

5月8日、最上小国川の最上町赤倉地区から舟形町富長橋付近までのおよそ40kmの区間で、今年も「最上小国川集中クリーンアップ大作戦」を行いました。

実施にあたっては、小国川漁業協同組合の皆さま、山形県建設業協会最上支部の会員企業の皆さま、最上町職員・舟形町職員の皆さま合わせて約80名もの方にご協力いただきました。

昨年7月に発生した大雨の影響もあり、例年より多くのゴミが漂着していましたが、作業員の方々の頑張りにより、昨年度のほぼ倍となる

重さ 1,910kg のゴミを回収することができました。

ご協力いただいた作業員の皆さま、大変ありがとうございました。

最上小国川の景観や河川環境を守っていくために最も大事なことは、「ゴミを捨てない」ことです。「美しい最上小国川」を未来に残していくため、引き続きご協力をよろしくお願いします！



第10回最上小国川写真コンテスト 作品募集中！

今年も、最上小国川の魅力（最上小国川の流域文化、風景、体験や思い出…などなど）を撮影した写真を大募集しています！応募資格・応募数制限なし！スマホで撮った写真でもOK！

入賞者には豪華賞品（賞金や最上小国川流域の特産物）を用意していますので、ぜひご応募ください！

■テーマ：「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」

■募集期間：5月31日（土）～11月28日（金）

■入賞：最優秀賞1点（賞金1万円＋特産物2万円相当）
優秀賞3点程度（賞金5千円＋特産物5千円相当）
入選4点程度（特産物3千円相当）
特別賞4点程度（賞金5千円＋特産物5千円相当）

詳しくは、最上小国川清流未来振興機構の
ホームページをチェック！



〔連携支援室 29-1238〕

【インフォメーション】

クマに注意！

例年6～7月にかけて目撃数が急増します。次のことに注意して、被害に遭わないようにしましょう。

- 山ではラジオや笛、クマ鈴など、音の出るもので自分の存在を知らせましょう！
- 子グマに要注意！近くに母グマがいる可能性があり、大変危険！



県では「クマ目撃マップ」を作成しています。行先で目撃がないか確認しましょう。



[環境課 29-1285]

熱中症に注意！

● ● ● 毎日の生活の中に熱中症予防を取入れましょう ● ● ●



[地域健康福祉課 29-1267]

【ペットと一緒に避難できる準備を！】

災害の発生時、飼い主とペットと一緒に安全な場所に避難する「同行避難」を県では呼び掛けています。これは、双方の被害を避けるためです。

でも、「同行避難」と聞いて、あなたは何を想像しますか？ぜひ、県 HP をご確認ください、災害時に備えましょう。

県 HP「同行避難」
ぜひご覧ください



[生活衛生室 29-1261]

【適正受診にご協力をお願いします】

全国的に救急患者に占める軽症者の割合が増加しており、最上地域でも緊急性の高い患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。医療機関への適正な受診にご協力をお願いいたします。

県 HP をぜひご覧ください

～急な病気やけがに備えて～
医療機関を受診する際のお願い



[保健企画課 29-1256]

【あなたの歯と口は健康ですか？】

口は体の入口であり、食べることや話すことといった日常生活に欠かせない器官です。歯と口を健康に保つことは、全身の健康を維持するうえでとても重要です。生涯にわたって健康な歯と口を保つため、この機会に正しい習慣を身に付けていきましょう。



県 HP「歯の健康」
ぜひご覧ください

[地域健康福祉課 29-1267]

【不正大麻・けし撲滅にむけて】

大麻草や、あへんの原料となる「けし」は、法律で所持や栽培が禁止されています。不正大麻・けしを発見した時は、抜かずに県庁健康福祉企画課(023-630-2332)又は最寄りの保健所(最上保健所: 0233-29-1257)に連絡してください。



大麻(左)、植えてはいけないけし(アツミゲシ: 右)

[保健企画課 29-1257]